

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2012年10月期 第1四半期連結業績

超大型新店販管費増により営業利益・経常利益減益

売上高	8,904 百万円	(前年同期比	96.5%)
営業利益	344 百万円	(前年同期比	80.2%)
経常利益	302 百万円	(前年同期比	74.2%)
四半期純利益	128 百万円	(前年同期比	100.7%)

当第1四半期は、売上面では、蔦屋書店部門において前年同期比は全店で96.8%、既存店で94.6%となりました。

利益面では、売上総利益につきましては前年比99.3%とほぼ前年並みとなりましたが、超大型出店に係る投資を進めており、昨年8月にオープンした前橋みなみモール店及び3月オープン予定の大型新店に伴う販管費の増加により、**営業利益・経常利益ともに前年同期に比べ減益**となりました。また、前期は資産除去債務に関する会計基準適用に伴う特別損失158百万円、店舗の統合閉店に伴う特別損失5百万円を計上した一方、当第1四半期におきましては、税制改正による実行税率の引下げを受け、繰延税金資産25百万円の取り崩しを行い、法人税等に計上しました。これらにより、四半期純利益は前年同期比100.7%の128百万円となりました。

● 書籍・文具が堅調に推移

主力商品のうち、**書籍が売上高前年同期比101.2%(既存店97.4%)、文具が売上高前年同期比106.5%(既存店100.9%)と堅調に推移いたしました。**

レンタルは、映像部門においてプライスリーダーとなるべく単価の引下げを進めたことにより、売上高前年同期比89.7%(既存店90.1%)となりましたが、売上点数は既存店前年同期比で増加しております。

● 既存店 BOOK & CAFE スタイルへの改装進む

当社では、お客様の期待を上回る「心地よいコミュニティ空間づくりの実現」を掲げ、エンターテインメント・コンテンツとカフェが融合した“BOOK & CAFE”スタイルへの既存店改装を前年より推進しております。

前期の3店舗改装に引き続き、当第1四半期においては、蔦屋書店横越バイパス店(新潟県)の改装を実施し、1月28日にリニューアルオープンいたしました。これにより、グループ74店舗中、10店舗がBOOK & CAFEの業態となりました。

今後とも、「心地よいコミュニティ空間づくりの実現」を目指し、既存店の付加価値向上に努めてまいります。

● 2012年3月17日、埼玉県に“日本最大”の『蔦屋書店』がオープン！

昨年オープンした蔦屋書店前橋みなみモール店(1,800坪)をさらに上回る、日本最大(店舗面積 2,300坪)の超大型複合店「蔦屋書店 フォレオ菖蒲店」が2012年3月17日に、埼玉県久喜市に新規オープンいたします。

新たな楽しみの発見と、楽しみを通じて家族や仲間が集う「空間」の提供、そして「感動の力」をコンセプトに掲げ、豊富な「在庫」と多彩な「品揃え」でお客様の満足を追及いたします。また、1日中見て回っても飽きない店内にはCAFEを併設し、「くつろぎ」の場もご用意いたします。

書籍は1,000坪の売場面積に70万冊の充実した在庫を揃え、文具・雑貨は600坪の売場に、多彩な品揃えと、こだわりの商品を提案いたします。その他合計60,000枚を取り揃えるDVD・CD販売では、ジャズ・クラシックなど「オトナ向け」の音楽が合計10,000枚と地域でも最大級の品揃えを行います。

1人でも友達同士でも家族みんななどでも、コミュニティの中で、選ぶ楽しみ、学ぶ楽しみ、くつろぐ楽しみが生まれる。新たな文化と出会う提案性の高い売場づくり。

お客様の心に届く、「おもてなし」をしてまいります。



● 2012年10月期 通期連結業績予想(2011年11月1日~2012年10月31日)

2012年10月期は、第2四半期以降、超大型複合店2店舗の出店を予定しており、昨年8月にオープンした前橋みなみモール店も寄与し、大幅な増収を見込んでおります。また、引き続き原価率の改善とコスト効率の見直しにより、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

このことから、売上高36,100百万円(前年同期比108.1%)、経常利益1,250百万円(同123.4%)、当期純利益620百万円(同135.6%)を予想しております。

1. 連結業績の概要

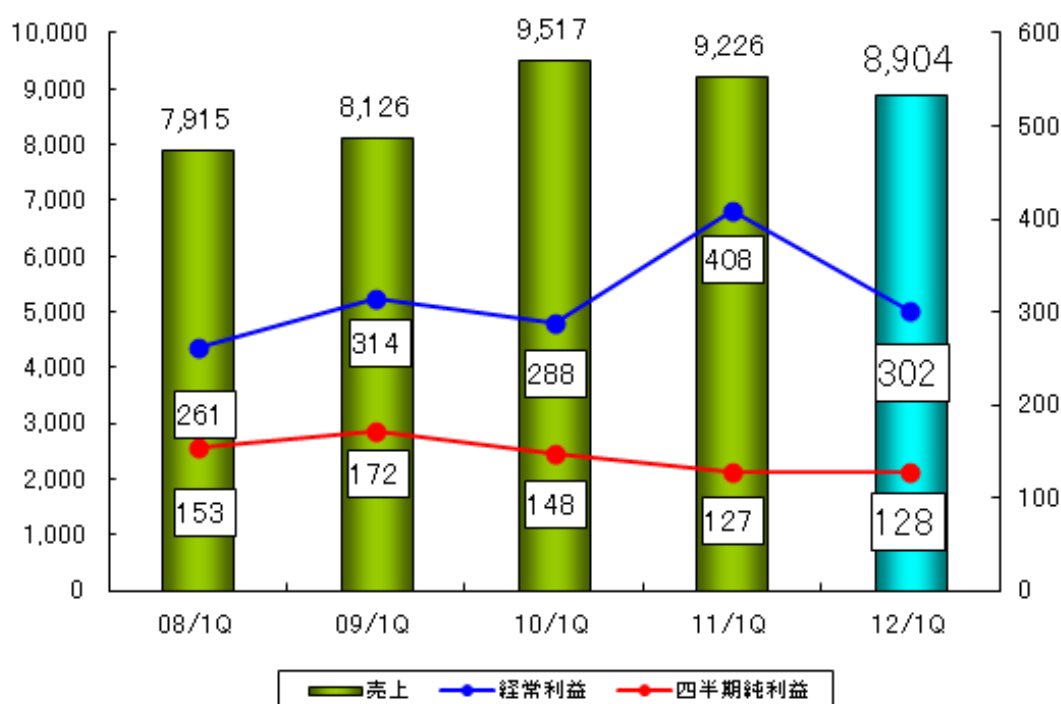
【連結サマリー】

(百万円)

	2011年10月期 第1四半期		2012年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	9,226	100.0	8,904	100.0	96.5
売上総利益	2,842	30.8	2,821	31.7	99.3
営業利益	429	4.7	344	3.9	80.2
経常利益	408	4.4	302	3.4	74.2
四半期純利益	127	1.4	128	1.4	100.7
EPS(円)	10.67		10.74		100.7

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



【蔦屋書店部門サマリー】

(百万円)

	2011年10月期 第1四半期		2012年10月期 第1四半期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	8,899	100.0	8,611	100.0	96.8
売上総利益	2,750	30.9	2,737	31.8	99.5
営業利益	403	4.5	320	3.7	79.5
経常利益	402	4.5	316	3.7	78.7
四半期純利益	127	1.4	147	1.7	116.1
EPS(円)	10.59		12.30		116.1

2. 商品別売上高の状況

- ・書籍は、売上上位商品の充足率の強化を図るとともに定番商品の品揃え強化に努めました。
- ・文具は、定番商品の売上が順調だったことや、既存店の売場改装を進め、品揃えを強化したことにより堅調に推移しました。
- ・レンタルは、映像部門で単価の引下げを進めたことにより、売上高は減少しましたが、売上点数は既存店前年比で増加しております。
- ・販売用CD・DVDは、引き続き在庫効率化と商品提案力の強化に取り組みました。

(百万円)

		11年10月期	12年10月期			既存店
		第1四半期	第1四半期			
		金額	金額	増減額	前年比	前年比
蔦屋書店事業	書籍	3,739	3,783	44	101.2	97.4
	レンタル	2,000	1,794	△206	89.7	90.1
	文具	712	758	45	106.4	100.9
	販売用CD	832	766	△65	92.2	91.3
	販売用DVD	616	523	△92	84.9	84.1
	その他	998	983	△14	98.6	
	計	8,899	8,611	△288	96.8	94.6
その他	326	293	△33	89.8		
合計[連結]	9,226	8,904	△321	96.5		

※店舗数は前期が75店舗に対し、当期は74店舗と1店舗減少しております。

3. 出店・改装の状況

- ・既存店1店の改装を行い、BOOK&CAFE スタイル店舗へ移行しております。
- ・第2四半期以降に関東エリアでの新規出店を2店計画しております。

2012年1月末現在

グループ合計店舗数 74 店舗 延床面積合計 35,661 坪

(1店当たり 平均 482 坪)

【2012年10月期 出店計画】

	店名	場所	開店日/閉店日
改装 BOOK&CAFE スタイルへ移行	蔦屋書店 横越バイパス店	新潟県	2012/01/28
新規出店	蔦屋書店 フォレオ菖蒲店	埼玉県	2012/03/17
	蔦屋書店 新店	茨城県	2012/秋(予定)

4. 2012年10月期の業績予想

- ・ 出店につきましては、第2四半期以降、関東地区において超大型複合店舗の新設出店2店を予定しております。
- ・ 昨年8月にオープンした前橋みなみモール店も寄与し、大幅な増収が見込めること、またコスト面においても、引き続き原価率の改善及びコスト効率の改善に取り組み、大幅な収益体質の改善を図ってまいります。

以上のことから、当初公表した業績予想に変更はありません。

【連結】

(百万円)

	11年10月期		12年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	33,402	100.0	36,100	100.0	108.1
経常利益	1,012	3.0	1,250	3.5	123.4
当期純利益	457	1.4	620	1.7	135.6
EPS(円)	38.12		51.67		135.5

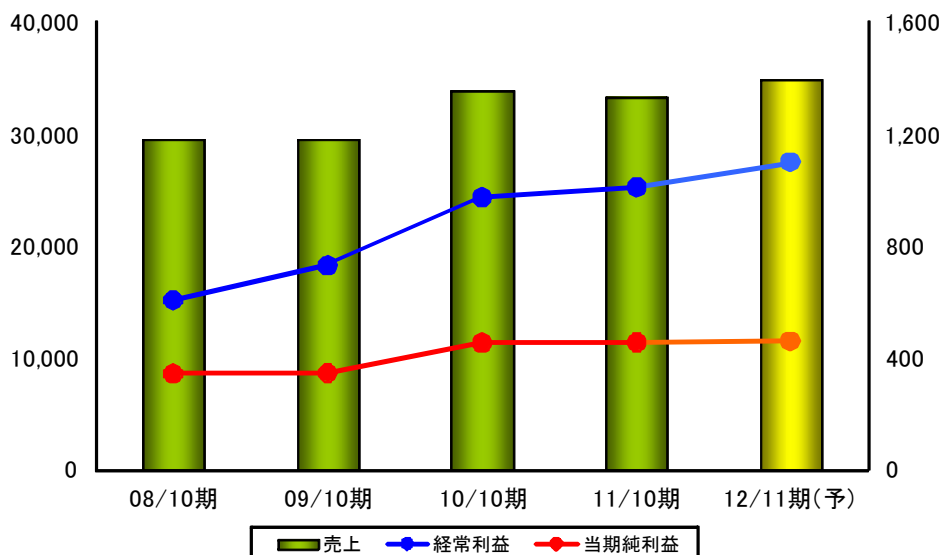
【蔦屋書店部門】

(百万円)

	11年10月期		12年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	32,404	100.0	35,200	100.0	108.6
経常利益	1,026	3.2	1,200	3.4	116.9
当期純利益	480	1.5	583	1.7	121.4
EPS(円)	40.01		48.59		121.4

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

蔦屋書店

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー 取締役管理部長 遠海 武則

TEL: 025(232)0008 / FAX: 025(265)1260

<http://www.topculture.co.jp>